

ゆぎょうじ 遊行寺だより



ホームページでも
配信しています

鳥のさえずりが春の到来を知らせているかのようです。
今月下旬には例年、放生池のハクモクレンが見ごろを迎えます。開花状況もホームページで更新いたしますので、ぜひご覧ください。

◆ 今月の行事予定

- でんしゅうでんかいけぎょう
- **伝宗伝戒加行**【6日（火）～15日（木）】
時宗僧侶になるためには、この修行を必ず成満しなくてはなりません。内容については完全非公開で、10日から本堂内も非公開となりますのでご了承ください。

- しゃきょうえ
- **写経会**【4日（日）午後1時】
どなたでも気軽に写経の体験ができます。受付は12時半からです。（御志納 1,000 円）手ぶらでご参加いただけ、終了時間は自由です。
* 4月の「写経会」は8日に変更の予定です

- げつれいほうわかい
- **月例法話会**【23日（金）午後2時】
信徒会館にて行います。ご参加は自由です。
当月講師：時宗布教伝道研究所
宮城県登米市 常楽寺 佐々木文海 師



◆ 今月の催事予定

- **骨董市**【4（土）、21日（水）】
* 今月はボロ市の日程に変更があります
毎月第1日曜日…のみ蚤の市
〈問合せ：090-4416-2168（石田様）〉
毎月第3日曜日…ボロ市
〈問合せ：090-2660-6935（中島様）〉
* 午前7時より午後4時まで（雨天中止）
- **寺ヨガ**【17日（土）】
* 今月は当山の行事のため、日程変更があります
4月は15日に変更の予定です
毎月第2日曜日 於：大書院
9時～ / 11時～ / 1時～（各1時間）
〈問合せ：090-4365-5034（ナーニャ先生）〉
- **野菜市**【7、14、21、28日（水）】
毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

遊行寺宝物館

企画展『弥陀と観音』〔2月17日（土）～5月7日（月）〕

開館日：毎週月・土・日曜日・祝日 入館料：400円（小・中学生200円）



日本仏教において、飛鳥時代に信仰が伝えられたとされる阿弥陀仏。平安時代末期になりますと、釈迦入滅後に時間がたつにつれて仏法の勢いが衰え滅してしまうとされた末法思想が広がり、現世で受ける利益である「現益」を諦め、来世で受ける利益「当益」を期待する風潮が生まれます。その流れは阿弥陀仏の本願に基づき、阿弥陀仏の名を唱える念仏や、その姿や荘厳・相好・功德を深く心に描き思い浮かべる観仏などにより、阿弥陀仏が教主である西方極楽浄土への往生を願う姿となって現れます。

阿弥陀仏への憧れが浄土信仰を興隆させ、阿弥陀信仰を爆発的に広げるきっかけとなりました。また、仏教公伝の頃より慈悲の徳により多くの信仰を集めた観音は、阿弥陀仏の脇侍としても描かれます。手に蓮台をもち阿弥陀と共に来迎し、衆生を浄土へと導く姿となって、より多くの衆生に慕われるのです。阿弥陀と観音の姿は祈りの対象として様々な姿で描かれ、厚く信仰され今日に伝わるのです。（遊行寺宝物館）

無常の別れ

卒業、転職、転勤など「別れ」が多いのがこの季節。

恋人や家族、友人など、愛する人との別れは本当につらいものです。距離が遠くなってしまっただけ、というならまだましですが、死別であればその心を癒すにはどれほどの時間がかかるか分かりません。まさに「地獄鬼畜の苦し^{あいべつりく}み」でしょう。そのような別れの苦しみを仏教では「愛別離苦」と申します。

かつてお釈迦様が在世の頃、キサー・ゴータミーという女性がいました。ゴータミーは幼い子供を亡くした激しい悲しみで錯乱してしまい、生き返らせる方法を探すために、遺体を抱えたまま町をさまよい歩いていました。縁あってお釈迦様のもとを訪れたゴータミーは、生き返らせてほしいと懇願します。すると、お釈迦様はこれを了承し、その方法を次のように示されました。

「ゴータミーよ、町の家々を回ってケシの実を貰ってきなさい。ただし死人を出した家を除くこと。」

とても簡単な指示にゴータミーは喜び、町の家々を駆け回りますが、死人を出していない家を見つけることはできませんでした。「昨年親を亡くしています」、「妻に先立たれてしまって…」、「うちも子供を亡くしたばかりです」というような話を聞いたことでしょう。そのうちにゴータミーは、身内の死に悲しんでいるのは自分だけでないこと、そして、どんなに愛する者でもいつかは別れがやってくることを悟りました。ゴータミーは、お釈迦様の言葉の真意——子供の“死”と向き合うこと、そして自分自身の“生”と向き合うこと——を理解し、その後仏門に入ったということです。

ゴータミーのような状況においては、誰しも頭の整理がつかず、自暴自棄や無気力になることがほとんどでしょう。ですがそれははたしてお浄土に先立った故人が願う姿でしょうか。ゴータミーのように前を向き、生死に向き合う姿勢をお釈迦様は勧められているのだと思います。人によって癒える時間は変わりますが、悲しみをこらえ、別れた人を偲ぶことで「愛別離苦」を乗り越え、前向きな歩みを踏み出せるのではないのでしょうか。 合掌

(山務書記:高垣浩然)

facebook

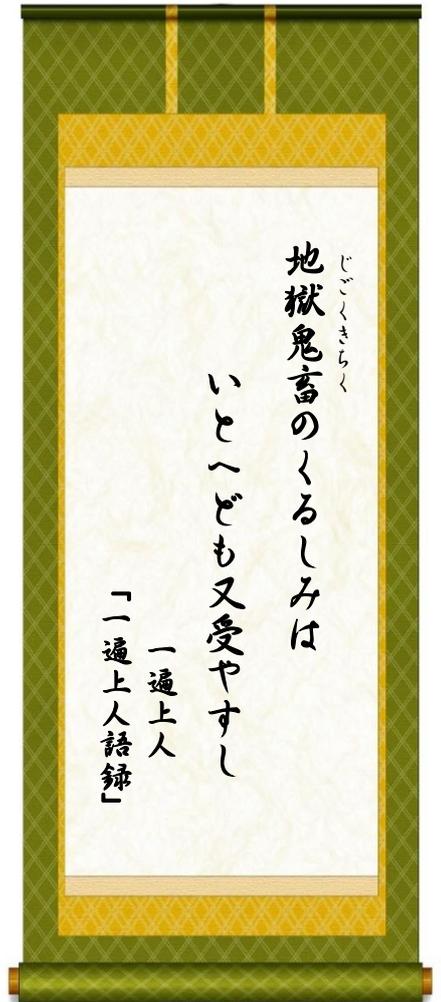
フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪

時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

宗祖の

今月のおことば



～一遍上人のおこころ～

この現世に生きてると、地獄や餓鬼、畜生の世界とも思われるような苦しいことが降りかかる。どんなに望まくとも、願わなくともその苦しみはやってくるからこそ、私たちはその苦しみを乗り越えなければならない。

春のお彼岸は

3月18日～24日です